

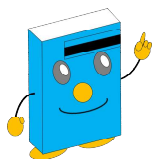
Q 知的障害とは？

A **知的機能の発達に明らかな遅れ^①と、適応行動の困難性^②を伴う状態^③が、発達期に起こるもの^④を言う。**

- ① 認知や言語などに関わる精神機能のうち、情緒面とは区別される知的面に、同年齢の児童生徒と比較して平均的水準より有意な遅れが明らかな状態。
- ② 他人との意思の疎通、日常生活や社会生活、安全、仕事、余暇利用などについて、その年齢段階に標準的に要求されるまでには至っていないことであり、適応行動の習得や習熟に困難があるために、実際の生活において支障をきたしている状態。
- ③ 「知的機能の発達に明らかな遅れ」と「適応行動の困難性」の両方が同時に存在する状態。
- ④ この障害の多くは、胎児期、出生時及び出生後の比較的早期に起こることを表している。発達期の規定の仕方は、必ずしも一定しないが、成長期（おおむね18歳）までとすることが一般的。

適応行動の面では、次のような困難さが生じやすい。

- **概念的スキルの困難性**
言語発達：言語理解、言語表出能力 等
学習技能：読字、書字、計算、推論 等
- **社会的スキルの困難性**
対人スキル：友達関係 等
社会的行動：社会的ルールを理解、集団行動 等
- **実用的スキルの困難性**
日常生活習慣行動：食事、排せつ、衣服の着脱、清潔行動 等
ライフスキル：買い物、乗り物の利用、公共機関の利用 等
運動機能：協調運動、運動動作技能、持久力 等



（特支小中学学習指導要領解説各教科等編 第4章第1節1，
特支高学習指導要領解説知的教科等編(上) 第2編第2部第5章第1節1)を基に作成

適切な支援があることで、困難さは軽減されます。
まずは、目の前の児童生徒の状態を把握しましょう。

